



唐津市ひとり親家庭福祉会 ツリークライミング体験 特集ページで紹介

市議会
だより

P2 当初予算
P3～P4 議案質疑
P5～P6 分科会
P7～P14 一般質問
P14 特別委員会報告
P15 特集ページ
P16 編集委員会視察報告
編集後記

あなたとつながり からつ

2026年5月 第95号



読みやすいユニバーサルデザインフォントを
採用しています。

令和8年度 唐津市一般会計 当初予算 793億8,083万3千円 を可決しました!

【総務費】

- ・有線テレビジョン施設等撤去事業費 313,245千円
- ・生活路線バス等運行対策事業費 221,094千円

PICK UP 1

- ・地域まちづくり支援交付金 22,000千円



※イメージ図

【民生費】

PICK UP 2

- ・重層的支援体制整備事業費 7,923千円
- ・教育・保育施設給付費 5,813,019千円



【衛生費】

- ・母子保健事業費 105,055千円
- ・指定容器(ごみ袋)製造等業務費 99,000千円

【商工費】

- ・ガストロノミーツーリズム創出事業費 12,580千円

PICK UP 3

- ・唐津城関連施設大規模改修事業費 85,328千円



鬼塚小学校

【土木費】

- ・道路交通支障対策事業費 44,173千円

【教育費】

- ・鬼塚小学校改築事業費 45,847千円

PICK UP 4

- ・ツール・ド・九州2026開催支援事業費 9,172千円



写真提供: ツール・ド・九州2025実行委員会

3月定例会 議案質疑

詳しくはこちら▶



提出された42件の議案に対して各会派から3月4・5・6日、22名の議員が質疑を行いました。

PICK UP 1

地域主体のまちづくり推進のために 地域まちづくり支援交付金

地域の様々な団体や個人等で構成する地域まちづくり会議に対して支援をすることで、地域内の連携・協働や、自主的かつ主体的なまちづくりの取組みを推進する

Q 事業の内容は

A 地域で主体的に事業を実施する団体である、地域まちづくり会議を支援する。支援の内容は地域まちづくり会議が実施するソフト事業に対して、交付金の対象となる経費の10分の10以内で100万円を上限に交付する。

Q 地域まちづくり会議と、構成する委員の内容は

A 平成28年4月からまちづくりを目的とする「地域まちづくり会議」の設立と、運営に関する要綱を制定した。市内全域の公民館単位を基本に、22の認定団体がある。

構成する会員の要件は、「地域内の居住者でまちづくりに関心がある者」「地域に存する各種団体の代表者」「その他地域の推薦を受ける者」としている。

Q 交付金はどのような事業に活用できるか

A 「地域まちづくり活動の推進を図るソフト事業」を対象としている。また、地域で恒例となっているイベントや営利目的のもの、他の補助金の交付を受ける事業などは、対象外。令和9年度以降は、前年度に計画書の提出を受けて予算を計上し、事業を実施する手続きとなる。



PICK UP 2

包括的な支援の強化を 重層的支援体制整備事業費

社会福祉法に基づき、高齢・障がい・子ども・生活困窮それぞれの分野を超えて、複合的課題に対応する包括的な支援体制の整備を図る

Q 事業の目的と経緯は

A これまで分野ごとに相談対応を行ってきたが、複合化する課題に対応するため、分野を超えた一体的支援が必要と考え、令和8年度から本事業を開始するもので、令和5年度の地域福祉計画、令和6年度の総合計画に位置付け、準備を進めてきた。

Q どのようにして課題解決を目指すのか

A 近年、8050問題、ヤングケアラー、ひきこもり、孤独・孤立など複合的課題を抱える世帯が顕在化し深刻化している。このような状況を踏まえ、本事業の実施により、困りごと全体を受け止め、伴走型支援・継続型支援を実施していくことで、誰ひとり取り残さない地域社会づくりを目指す。

Q 外部機関との連携は

A ハローワークなどの行政機関、社会福祉協議会、医療機関、NPOなどの民間事業者と連携し、重層的支援会議において専門的な意見を支援プランに反映していく。また、本人が支援の必要性を自覚していないケースもあるため、民生・児童委員や自治会など地域の支援者からの情報をもとに、潜在的なケースの把握やアウトリーチ型の訪問支援などに取り組んでいく。



PICK UP 3

唐津城の魅力アップと景観向上

唐津城関連施設大規模改修事業費

老朽化が進んでいる唐津城関連施設について、安全で快適に利用できるよう大規模な改修を行う

Q 舞鶴公園エレベーター改修工事に係る工事期間は

A 令和8年12月から令和9年2月までの3ヶ月を予定している。改修工事中の利用客への影響をなるべく少なくするために、例年天守閣への入場者が少ない時期に設定した。

Q 改修工事の概要は

A 今後も唐津城を安全に利用できる状態を維持するため、調査で再整備が必要となっていた外壁や設備等改修を行う。内容は、老朽化した天守閣全体の外壁と屋根、また管内配水設備の改修、避雷針設置等を予定している。さらに、ライトアップ設備をLED化し、多色展開するとともに、舞鶴海浜公園内の樹木伐採を行い、遠くからも石垣が見えることで城の魅力アップと景観向上を図る。

Q 唐津城天守閣に入場できない期間は発生するのか

A 令和8年度に行う天守閣改修実施設計において検討するが、工法によっては一定期間、天守閣への立入りを制限する可能性もある。閉館が必要となった場合、できる限り閉館期間が短くなるよう、工法等についても工夫を図る。



PICK UP 4

佐賀県初開催

国際自転車ロードレース

ツール・ド・九州2026開催支援事業費

令和8年10月に開催予定の国際自転車ロードレースについて、関係機関と連携しながら大会の円滑な実施に向けた支援を行う

Q 大会の概要は

A 10月9日から12日までの4日間で開催予定。9日は長崎県で市街地周回レース、10日は佐賀県・福岡県で第1ステージ、11日は大分県・熊本県で第2ステージ、12日は宮崎県で第3ステージを開催予定。

Q 事業費の使い方は

A 観戦スポットに大型モニターを設置し、会場設営や仮設トイレの設置、雑踏警備などを行う。機運醸成のため、県内で開催される既存イベントへのPRブース出展や、大会コースを活用したサイクリングイベントを実施。また、山岳賞や新人賞などの各種表彰の大会賞として唐津産品を提供し、唐津のPRにつなげる。

Q コース内の観戦スポットの場所は

A 観戦スポットの場所は未定だが、大型モニターを設置し、レースを楽しめる環境を整える。場所は今後、アクセス方法なども踏まえ、県と調整して決定する。

Q 大会の効果について

A 大会は全世界に発信されるため、本市をPRする絶好の機会となる。また、世界トップクラスの選手が唐津を走ったことがレガシーとなり、他のサイクリストが本市を訪れるきっかけとなることが期待される。さらに、大会を応援することで、地元への愛着や誇りを再確認する機会にもなる。



写真提供：ツール・ド・九州2025実行委員会

総務教育分科会

◎宮本 悦子 ○岡部 高広 大西 康之 古賀 博文 松本 増浩 榎崎 三千夫 田中 路子

鬼塚小学校改築事業費

- Q 移転予定先の鬼塚中学校は浸水の危険性があるのでは**
- A 浸水対策として止水板の設置等を検討している。
- Q 行政連絡員への説明は**
- A 現校舎の現地建て替え、敷地内への建替え、鬼塚中学校敷地への移転改築の3案で説明会を実施した。
- Q 近隣の小学校との統合は考えたのか**
- A 現時点では統合は見込んでいない。施設の老朽化により移転改築として事業を計画した。
- Q 浸水や体育館利用でのカリキュラム調整や、駐車場の問題などがあるのでは**
- A 学校敷地で浸水の記録は無い。カリキュラムの調整は対応可能。駐車場、駐輪場は設計で必要数を確保していく。

《現地調査》

- ・厳木市民センター等整備予定地(厳木町)
- ・鬼塚中学校(山本)

【附帯意見】

移転に関し、用地の現況に対する対策、中学校を含めた全体的な活用方法を検討すること。校舎整備は児童の安全性を最優先とした設計を要望する。



厳木市民センター等整備予定地(厳木町)

産業経済分科会

◎山下 壽次 ○久保 美樹 野田 宗作 甲斐田 晴子 中山 亘 水竹 道夫 伊藤 一之

地域まちづくり支援交付金

- Q 市が交付金として支援する意味合いは**
- A 地域活性化など、行政を補完する地域まちづくり会議の取組を、より公益性の高いものとして交付金を設定した。

《現地調査》

- ・唐津城(東城内)
- ・唐津市水産会館(海岸通)

【附帯意見】

青少年音楽活動育成支援事業補助金については、事業目的推進のため広く活用の機会が与えられるよう要望する。

ガストロノミーツーリズム創出事業費

- Q 事業の目的は**
- A 唐津を食のまちとしてブランディングし、国内外の認知向上を図ること。初年度はコンセプトメイクと試行イベントを実施する予定。
- Q 3年でイメージを定着できるのか**
- A 3年を目途に定着を目指し、債務負担行為の設定も検討しながら進めていきたい。



唐津城(東城内)

都市整備分科会

◎青木 茂 ○宮原 辰海 高倉 寛和 山浦 学 古田 リバー 筒井 紀充 吉村 慎一郎

下水道事業会計 処理費

Q 処理区域再編検討業務の考え方は

A 人口減少により使用料収入が減少する中で、施設の老朽化に伴う維持管理や更新に係る費用の増加が懸念される。今回の処理区域再編検討業務では、現状の集合処理方式から分散型への移行が望ましい地域の洗い出しを行うなど、地域住民の理解を得たうえで整備計画の見直しを考えていく。

市道明神線他舗装改良事業費

Q 附帯意見への対応について説明を受けたが、その後何か変更はあったのか

A 中心市街地活性化協議会事務局へ説明を行い、また工事着手前に曳山取締会と近隣住民へ再説明を行った。

Q 道路に隣接する病院や店舗、民家に対する安全対策は

A 乗り入れ部分などについては、休診日や定休日での施工や、施工時間を変更するなど安全に配慮しながら施工する。

《現地調査》

- ・市道 虹の松原宇木線（鏡）
- ・市道 山田竹木場線（菅牟田）



市道 山田竹木場線(菅牟田)

市民厚生分科会

◎古藤 宏治 ○黒木 初 江里 孝男 井手 清和 片峰 和也 大河内 正弘 伊藤 泰彦

空家等対策事業費

Q 空き家の現状と推移は

A 令和2年度の調査で3,107件を把握し、増加傾向にある。令和8年度の調査では約4,500件程度まで増える見込み。

Q 減らす方針なのに増えている理由は

A 除却や活用は進んでいるが、相続や転居で新たな空き家が発生し、全体として増加している。

周産期医療対策事業費

Q 補助を行うに至った経緯は

A 唐津赤十字病院は、災害医療や周産期医療を担う重要な医療機関。現状は産科医不足や働き方改革、物価・人件費高騰により医療体制の維持が課題。これを受け、周産期医療対策委員会から体制強化の提言がなされた。

《現地調査》

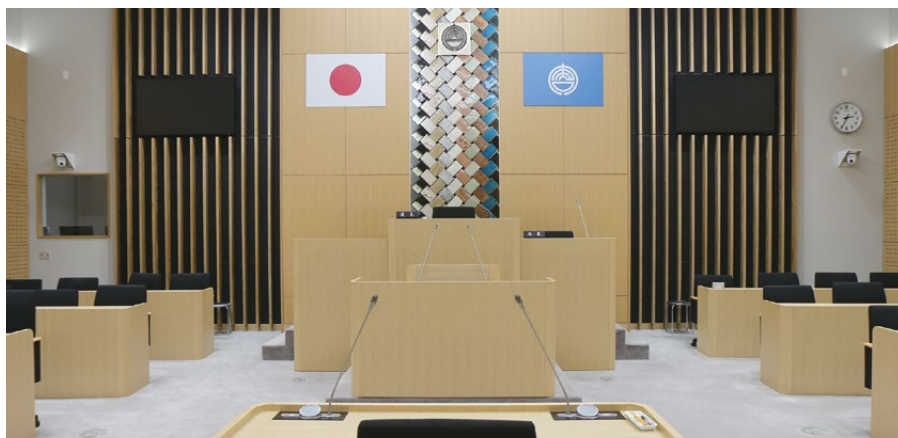
- ・人権ふれあいセンター唐津(八幡町)
- ・かがみおひさまこども園(原)



かがみおひさまこども園(原)

一般質問 市政のここが知りたい

3月定例会の一般質問は、3月9・10・11・12日の4日間で行われ、21名の議員が登壇しました。



市民の声を代弁する 一般質問の掲載について

一般質問の記事は、議員本人が決められたルールにより作成された原稿を掲載しています。



新風唐津 まつもと ますひろ
松本 増 浩

唐津市の教育問題

詳しくはこちらで▶



Q 郷土愛醸成の教育活動は

A 道徳の授業等を通じ、郷土を愛する心や先人の努力を尊重する態度を育む教育が行われている。こうした取組は、子どもたちが地域から大切にされていると実感し、ふるさと唐津への誇りを育むとともに、自己肯定感を高め健やかな成長を支える基盤になると考える。

Q 唐津市における国旗・国歌教育の運用方針は

A 児童生徒には、社会科や音楽、道徳、特別活動などを通じて、国旗・国歌の意義を理解し尊重する態度を育むとともに、諸外国の国旗・国歌も同様に尊重する姿勢を養い、国際社会に生きる日本人としての自覚を育てることを柱に指導している。



唐誠会 かたみね かずや
片峰 和 也

道が育てる唐津の未来

詳しくはこちらで▶



Q 佐賀・唐津道路の進捗と方向性は

A 唐津～相知間については、国において調査区間の指定、環境影響評価方法書の公告の縦覧があったが、それ以降表だった進展が見えない状況。

Q 佐賀県との体制を構築すべきでは

A 佐賀唐津道路(唐津～相知間)の早期着工に向けた体制については現在設置している「佐賀唐津道路(唐津多久間)に関する勉強会」に佐賀県にオブザーバーとして参加していただいている。県と随時情報共有を行っており、市と県が同じ認識のもとで方向性を整理できる体制を構築している。

Q 放課後等デイサービスの利用の上限は

A 上限は決められているが状況によって市の判断で原則日数を超えて利用できる場合もある。





新生会 たか くら ひろ かず
高倉寛和
唐津Qサバの今後



詳しくはこちら▶

Q 唐津Qサバの価値を唐津市として、どのように捉えているのか

A 九州大学との共同開発により、全国で初めて量産に成功した完全養殖マサバで、アニサキスが寄生するリスクを低減し、生食で提供出来ることが利点。また、唐津Qサバは、主に唐津でしか食べられない希少性やイカが獲れない時期でも観光客を呼び込める魅力がある重要な観光資源であると認識している。

Q 唐津Qサバの今後の展開と将来のビジョンについて

A まずは環境変化に対応して生産体制を構築し、マサバの完全養殖では日本を代表する養殖事業の一つとな

れるよう高い意識をもって取り組みたいと考えている。



新生会 おお かわ ち まさ ひろ
大河内正弘
農地の確保と農地転用



詳しくはこちら▶

Q 農地の多面的な利用の方向性を考慮しながら、集約化が可能な優良農地を継続的に保全していく地域と、開発ポテンシャルに基づいた効率的な土地利用転換が予想される地域との「二面的管理」が必要になるのではないかと

A 本市の定める都市計画マスタープランにおいて、競争力の高い魅力ある農業の実現や無秩序な開発の防止により、多用途開発の防止等により多用途への転換及び耕作放棄地の発生を抑制し、必要な農用地の整備と確保を図る。また農地の宅地化によりその周辺地区を含め、浸水被害のリスクを考慮し保水能力の確保を考慮した開発行為への対応、指導を適切に行う。農地

が転用される場合に備え、雨水貯留浸透機能について基準の策定を進めている。

◎他の質問

・唐津市における下水道の課題と今後の方針について



新風唐津 い で きよ かず
井手清和
唐津市の行政DXの進捗と次の段階



詳しくはこちら▶

Q DXを武器とした行政改革を提言 R4度からR7度(予測)の印刷枚数を約220万枚削減、電子決裁率9割と成果を上げているが、更なる深化を問う。生成AIの活用状況は

A 昨年の実証実験で4千件超の利用があり、文書作成等で効果を確認した。令和8年度は市の公文書を学習させた「ナレッジベース型 AI」の導入を検討し、業務の標準化を図る。

Q DXによる効率化の真の目的は

A 業務効率化による単なる人員削減ではなく、捻出した時間を市民の皆様への寄り添いや企画立案に再配分

する「攻めのDX」を推進し、地域力向上と唐津市民の豊かさを追求していく。





公明党 みず たけ みち お
水竹 道夫

SNSリテラシー教育



Q 偽・誤情報に騙されないよう、個人の判断力、いわゆる「SNSリテラシー」を向上させる取り組みが必要だと考えるが、市の認識、考え方は

A 広報媒体で注意喚起を行ったり、相談窓口で助言を行っている。

Q SNSリテラシー教育はどのように行われているか

A 各学校で、適宜実施しているほか、外部から講師を招き児童生徒と保護者を対象に講話を実施した。

Q SNSリテラシー教育をどのように進めていくか

A 外部機関とも適切かつ迅速に連携しながら課題に対応できるよう、各学校への指導を強化する。

◎他の質問

・サイクルツーリズム推進について



新生会 こ が ひろ ふみ
古賀 博文

外国人労働者の受け入れ



Q 外国人労働者について、職場や地域との間でトラブルは起きていないか

A 令和6年に佐賀労働局が公表した資料によれば、佐賀県内の技能実習生に対し、116件の監督指導が行われ、労働災害が10件発生している。生活面や地域住民との間で起こるトラブルの多くは、事業所や当事者間で適切に対応されているものと認識している。

Q 増加する外国人住民に、市として積極的に関わる考えはあるのか

A 今後も外国人住民の増加が見込まれ、転換期を迎えていると認識している。外国人住民を一時的な存在とし

てではなく、地域社会を構成する一員として捉え、将来を見据えた環境整備を進めていくことは重要だと考えている。



日本共産党 くろ き はじめ
黒木 初

続く物価高に備え、生活と生業を守るため



Q ウクライナ侵攻以降の物価高騰は、資源高や円安、国際情勢の不安定化から一時的でなく構造的・長期的と認識しているか。また原油高騰などによる「第二波」にどう対応するのか。地域経済への影響も踏まえ、農業の所得保障や住宅リフォーム助成、家賃補助の検討はどうか

A 物価高騰は事業者負担や賃上げを含むコスト増が続ぎ、中長期化のリスクがある。第二波・第三波も見据え関係機関と連携して対応する。農業や建設業、中小事業者への影響は大きいですが、現時点で直接支援や家賃補助の予定はなく、住宅リフォーム助成も実施予定はない。





新風唐津 あお き しげる
青木 茂

私の公約「近隣都市との連携」



Q 本市は、福岡都市圏等への通勤圏に位置する地理的優位性を有している。一方で、中山間地域においては実家の空き家や農地の管理が困難となり、耕作放棄地の増加や国土保全機能の低下が懸念されている。そこで提案するのが、①普段は通勤利便性の高い市内地域に居住②離れた実家の空き家を副業拠点として整備③週末や農繁期に実家農業や地域保全活動に従事という「二拠点型定住政策」への支援である。これは単なる定住移住政策ではなく、①農地保全②空き家活用③集落などの関係人口の定着④福岡都市圏等との近接性活用を統合した「関係する定住」「国土保全型定住政策」として考える。市長の見解は

A 移住定住施策を力強く進め、地域の再生並びに活性化につなげて参りたい。



新風唐津 かい だ はる こ
甲斐田 晴子

給食の指針策定と歴史民俗資料館



Q 十分な給食の時間確保のための取り組みは

A 各学校から要望があれば、運搬事業者の回収時間の調整、時間割については、保護者の要望があれば各学校長へ連絡する。

Q 給食の指針策定について進捗と今後のスケジュールは

A 給食の青果について、最新の調査で県内産が30%に留まることがわかった。地場産物食材を給食に安定的に供給する体制づくりや、献立作成などの課題を関係者や専門家と協議し、来年度中に指針の策定を実現したい。

Q 新市民会館の反省をふまえ、歴史民俗資料館の利活用計画をどのように進めていくか

A 活用の専門的知見を持った人材を含め多角的な議論を深め1年を目途に方針を定める。保存と活用のバランスを図り、効果的かつ持続可能な文化財建造物の利活用を検討したい。



志政会 くぼ みき
久保 美樹

道の駅蔵木 ピンチをチャンスに



Q 佐賀唐津道路の無料化により、牧瀬インターチェンジ付近の道の駅蔵木が素通りされ、利用者減少が懸念される。ピンチをチャンスに変え、通過点ではなく目的地として選ばれていくためには、既存の休憩所及び情報コーナーの活用や新商品開発コンテストなど誘客に向けた新たな取組みが必要では

A 休憩所と情報コーナーは、関係機関や指定管理者と連携を図りながら利便性向上と利用促進に努める。また、地元産品、加工品を活かしたオリジナル商品、季節限定商品等を企画することで、来館動機を高め、滞在時間の延長や利用者数の増加につなげたい。

◎他の質問

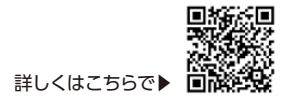
- ・中学校部活動の現状と今後の対応について
- ・新市民会館の備品購入(グランドピアノ)について





公明党 みやもと えつ こ
宮本悦子

緊急避妊薬の市販化と法定養育費の改正



詳しくはこちら▶

Q 緊急避妊薬の薬局販売開始への市の認識は

A 望まない妊娠への不安軽減につながる取組と認識しており、女性が安心して相談できる環境づくりが重要。

Q 市内での入身体制は

A 市内6薬局で取り扱いがあり、唐津東松浦薬剤師会薬局では365日夜間も対応している。

Q 相談支援体制は

A こども家庭センターや保健センターで妊娠や性に関する相談に対応、県の性被害救援センター等と連携、制度の周知、支援充実を図る。

Q ひとり親家庭の養育費の受給状況は

A 約22.8%で、十分に確保されていない状況。

Q 4月に改訂される法定養育費制度とは

A 離婚時に養育費の取り決めがなくても、子ども1人あたり月2万円を請求できる制度。

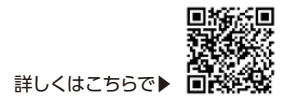
◎他の質問

・市民の行動を変える環境施策について



志政会 なか やま わたる
中山亘

小中一貫教育、渚の交番



詳しくはこちら▶

Q 人口減少や少子化が進む中、学校施設の老朽化、教員不足や働き方改革など、教育を取り巻く課題は、年々複雑化している。教育の質を維持しつつ、学校規模を適正化する9年間を見据えた教育が必要だと考えるが、教員不足や教員の働き方改革、学力向上など、多くの課題を同時に解決できる、施設一体型の小中一貫教育の導入についての考えは

A 唐津市学校通学区審議会の答申に基づき、まずは学校規模の適正化に注力していきたい。

Q 近年マリンスポーツを楽しむ人口が増えてきている。その一方で海の安全対策は大きな課題と考える。海の安全拠点、海洋教育、マリンスポーツ支援、観光案内等を

兼ねた施設である「渚の交番」を唐津でつくりたいか

A 県や海で活動している団体中心に情報を共有しながら検討する。



新生会 よし むら しん いち ろう
吉村慎一郎

有害鳥獣対策



詳しくはこちら▶

Q 広域駆除対策協議会からイノシシ大型獣用箱ワナの貸与先と台数は

A 市内11地区及び駆除班へ190基を貸与。

Q イノシシ大型獣用箱ワナの耐用年数と経過後の取扱いは

A 耐用年数は5年。捕獲器具の総括管理は、各地区の駆除従事者の代表者が当たる。

Q 令和8年度から令和10年度までに、新たに策定される唐津地域有害鳥獣被害防止計画は

A イノシシは、過去5年間の平均とし、6,240頭、アライグマは、660頭の目標設定。

Q アライグマの駆除は手間がかかるが、捕獲報奨金見直しの考えは

A 捕獲報奨金は、対策協議会で議論検討される。

Q 捕獲個体の埋設場所不足が問題となっているが

A 処理施設について、唐津地域有害鳥獣広域駆除対策協議会と検討する。





新生会

やま した ひさ つぐ
山下 壽次

公共施設の更新

詳しくはこちら▶



Q 切木・納所農漁民センター、肥前町地域の再配置の見直しは

A 公共施設再編審議会において、半島地域に位置する肥前地域などは、地理的特性を指摘する趣旨もあった。地理的・地形的要因を踏まえた公共施設の推移を俯瞰し、地元との協議状況を踏まえて、再配置計画の見直しを行いたい。

Q 市長の地域への思いは

A 本市は人口減少、高齢化などに直面している。地域の実情を知る地域住民が主体となり、課題を把握し、話し合い、行動することが重要。各地域にある施設は、住民同士のつながりを深め、誇りや愛着を育む大切な

「場」として必要。住民の皆様とともに、地域が輝き、柔軟で持続可能なまちづくりに努めていきたい。



公明党

つ い のり みつ
筒井 紀充

母子を守る防災・備えと周知強化

詳しくはこちら▶



Q 災害時の妊産婦や乳幼児へ対応の備えは

A 平時に母子手帳交付や相談、家庭訪問などで妊産婦の状況を把握。電子母子手帳を活用し、災害時の情報提供や支援体制の構築を図る。

Q からつつこ応援ギフトは備蓄品としても活用できる。避難所環境の改善と母子への配慮は

A 簡易トイレや液体ミルク等を備蓄し授乳スペース確保やベッド整備など環境改善に努め安心できる避難所づくりを進めていく。

Q 防災気象情報の「レベル化」により、内容はどう変わるのか。また、市民への周知はどのように行うのか

A 令和8年5月下旬から新制度が開始。警報に「レベル3」

などの数字が付記され、危険度が直感的に分かる仕組みとなる。市では、市報や公式LINE、ハザードマップ、防災講話などを通じ、継続的な周知に取り組む。

◎他の質問

・生活道路の安全対策について



新生会

なら ぎき み ち お
榎崎 三千夫

電源立地交付金

詳しくはこちら▶



Q 電源立地交付金・給付金とは

A 原子力発電立地地域の隣接地に負担軽減を目的に、電気料金を契約一口当たり家庭では年間4,212円を。事業所は契約1kw年間2,100円とF補助金を給付する制度で、対象地域は、旧唐津市、旧肥前町、旧鎮西町、旧呼子町となっている。

Q 対象になっていない地域との格差は以前から問題となっているが、進展は

A 枠組みは変わっていない。東日本大震災後、防災対策区域の変更があっている。

Q 市では均衡ある発展を目指してきた。家庭はもちろんだが、企業誘致の面でも対象外の地域は不利になるのでは

A 均衡ある発展の為、格差がないよう企業誘致に向け、国に働き掛けていきたい。

◎他の質問

・農業後継者問題について





新生会 **野田 宗作**

市道管理の地元委託の将来



詳しくはこちらで▶

- Q 業者委託と地元委託、それぞれの1平方メートル当たりの積算単価は**
- A 業者委託は過去の実績で平均250円程度、地元委託は67円。
- Q 業者委託と地元委託で単価に約4倍近い開きがある。今後、高齢化等で地元委託の継続が困難になる。その場合、市はどのように対応する考えか。財政上の負担はどうか**
- A 受託できなくなった場合は、市の道路パトロール系の職員、もしくは業者委託にて対応を考えている。業者委託となった場合、委託料が増額になるので、予算確保に努める。

- Q 重機導入といった負担軽減策、あるいは財政負担増を見据えた新たな管理モデルの検討など、市としての課題及び今後の対策は**
- A 他の自治体の動向に注視し、地元の意見を聞きながら検討する。



新風唐津 **古田 リバー**

移動、情報、ドローンの観点から9つの提案

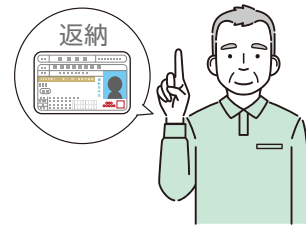


詳しくはこちらで▶

- Q 運転免許証自主返納者に対し、特定地点から「りふれ」への送迎、タクシー券の割引期間の延長、及びエリア限定での「上限設定型補助」の導入について検討できないか**
- A 関係部署と連携しながら、検討する。
- Q 市報以外の行政情報についても、LINEでの発行通知および、高齢者向けの音声広報のホームページ公開は、ユニバーサルデザインにつながる取組と考えるが、市の見解は**
- A 案内は可能であり、各部署と協議し取り組む。
- Q 農業者向けの国家資格取得支援等、消防団におけるドローン有資格者の育成による消防体制の補完及び、観**

光客や事業者も含めたドローン利用者のための相談窓口の設置について、市の見解は

- A まずは、現在の施策を着実に進める。
- ◎他の質問
・ローカル発注の運用について



唐津市民党 **田中 路子**

市民の困りごとを最優先に…



詳しくはこちらで▶

- Q 障がい者・高齢者の補聴器助成を提案**
- A 上限幾らという形で検討し頑張っていく。
- Q 避難所の空調整備の状況は**
- A 避難所42カ所中8カ所残っている。
- Q 看護学校の定員減少について市長の考えは**
- A 医師会の方々としてしっかり話を詰めていきたい。
- Q 出産祝い金制度を提案**
- A 出産祝い金を作られている自治体もあるのでその事に対しては考えてみたい。
その代わりに保育料を来春から安くする。
- Q 中学校入学準備制度等助成を提案**
- A 中学生の制服に関して少し調べさせてほしい。

- Q 重度知的障がい者の受け皿と人材不足について**
- A 唐津市と玄海町の安心ネットワークと成年後見サポートセンター等を紹介しながら寄り添った対応のサポートをしていく。



唐誠会

やま うら まなび
山浦学

消防車両・救急体制の高度化

詳しくはこちら▶



Q 救急需要増加と将来の見通しについて

A 毎年増加傾向にあり、過去5年の救急出動件数では、令和5年に初めて7,000件を超え、令和6年の7,116件が過去最高の出動件数となっている。

令和7年は、6,929件で前年比-187件で、今後しばらくは7,000件前後で推移していくのではないかと見込んでいる。

また、全救急件数に占める高齢者の割合は、毎年おおむね70%前後で推移しており、今後も同様の傾向が続くものと考えている。

◎他の質問

・スポーツ施設の維持管理について



玄海原子力発電所対策特別委員会 報告

2026年3月18日に唐津市議会議事堂において、委員会を開催した。

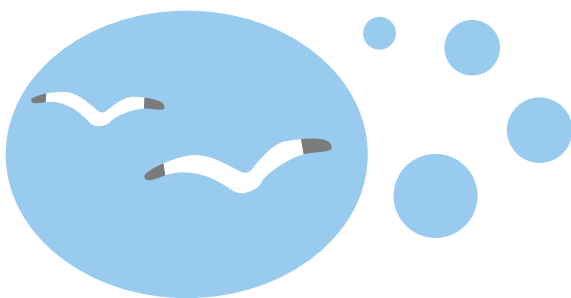
九州電力(株)から協議内容の説明を受け、委員からの質疑に九州電力(株)が回答した。

協議内容

- (1) 1、2号機 廃止措置計画の更新
- (2) 4号機 高燃焼度燃料の導入
- (3) 3、4号機 主変圧器及び所内変圧器の更新

説明概要

- (1) 認可を受けた廃止措置計画に基づき、廃止措置を4段階に分けて実施中。2026年から第2段階に入る。1、2号機とも2054年に完了予定。
- (2) 使用済燃料発生観点から、4号機において現在の燃料より長期間使用できる高燃焼度燃料を、2028年を目途に導入する。国内の原子力発電所(加圧水型)で3,000体以上の使用実績がある。
- (3) 3、4号機の更なる安全性及び信頼性の向上のため、定格容量を変更した主変圧器と所内変圧器を更新する。運転開始以降、約30年間使用しており、予防保全として更新をおこなう。



特集 団体さんご紹介

唐津市ひとり親家庭福祉会



これまで、唐津市母子寡婦福祉連合会として活動していましたが、令和4年に唐津市ひとり親家庭福祉会として再発足しました。

当会は、ひとり親家庭および寡婦の福祉向上とその健全な発展を目的とし、発足70年の歴史を有する全国組織の団体になります。

親子イベントやSNSを通して情報交換や親睦を深める場を企画・実施しています。

また、関係機関の協力を得て会員世帯対象に食料・生活物資・コスメギフトの配布も定期的に行っています。

主な活動

親子での自然体験や交流会

- ・ツリークライミング
- ・親子SUP体験
- ・唐津まちあるき
- ・マルシェ出店
- ・総会

支援品配布

ひとり親家庭のこどもの学習支援教室



親子SUP体験



唐津まちあるき



ひとり親家庭のこどもの学習支援教室



マルシェ出店

入会希望・賛助会員
以下より問い合わせください



ホームページ



@KARATSU.HITORIOYA

インスタグラム

編集委員会 先進地で学ぶ



2026年1月21日に奈良県王寺町、22日に兵庫県西宮市の視察を行いました。

王寺町

この町の「議会広報誌」は全国広報コンクール入選、新聞社の広報誌コンクール優秀賞など多数の賞を受賞しています。コンセプトは「あなたと議会をつなぐガイドブック」、ターゲットは20～40代の女性。

◆特徴

- ・市民の声を誌面に反映させた市民参加型
- ・議員の人柄が伝わるような議員一言コメントを掲載
- ・アンケートを行った結果、広報誌の閲読率は90%



西宮市

表紙のデザインコンテストを行い、市民に身近な議会だよりになっていました。中でも、「わが会派はこう思う」などのコーナーは参考になりました。

◆特徴

- ・文字を大きく余白を確保し、読みやすさを重視
- ・高校生の市議会訪問などを写真掲載



王子町と西宮市の議会だよりは、市民参加型の誌面づくりに取り組まれていました。本市議会でも市民の皆様が手に取り、読みたくなる誌面を目指していきます。

議会報編集委員会



編集後記

新緑が目鮮やかで爽やかな風が吹く季節。5月号の編集作業を終え、窓の外に初夏の訪れを感じております。編集委員会においても現体制がスタートして1年が経ち、新メンバーで読みやすい誌面を目指し、議論を重ねてまいりました。これまで目を通し、率直な意見をお聞かせくださった市民の皆様には、心より感謝申し上げます。

チームとしての連携も深まり、常に新鮮な気持ちで今後も読みたくなるような誌面づくりに努めてまいります。

(大河内 正弘)

唐津市議会がインターネットで視聴できます

【放送する議会】

定例会および臨時会、決算・予算特別委員会

【視聴方法】

唐津市議会ホームページからご覧いただけます。

スマートフォン・タブレットでも視聴可能です。

唐津市議会中継



唐津市議会 インターネット中継

検索

「唐津市議会報」編集委員会メンバー

委員長	久保 美樹	委員	片峰 和也
副委員長	岡部 高広	委員	大河内正弘
編集長	黒木 初	委員	古田リバー
委員	野田 宗作	委員	筒井 紀充
委員	高倉 寛和		

唐津市議会だより

令和8年5月1日
第95号

◎発行：唐津市議会 ◎編集：「唐津市議会報」編集委員会

■唐津市議会事務局内 〒847-8511 佐賀県唐津市西城内1番1号
TEL 72-9162 FAX 75-1515